

インドの宗教事情

— 宗教多元主義国家の光と影 —

入場
無料



மரியே வாழ்க

日時：平成23年7月2日(土)

13:30 ~ 17:00

会場：東北学院大学土樋キャンパス 6号館2階621教室

申込不要 どなたでも受講できます(直接会場にお越し下さい)

インドは日本のほぼ10倍の面積と人口を有する大国であり、多様性の国である。民族的に、文化的に、言語的に、そして宗教的に、さまざまな要素をかかえ、またそれだけ多くの問題をかかえている。本講演では、宗教の問題に焦点を絞り、南アジア(インド亜大陸)の宗教的変遷の跡を大きなスパンで捉え直すことから始め、最新の宗教事情について、それぞれの宗教・宗派の動向にも留意しつつ、また数字的資料などを織り交ぜながら解説する。パワーポイントを用い、また映像資料なども活用する予定である。

近現代に関わる具体的な内容としては、インド憲法や政治システムにおける「宗教」の位置、ヒンドゥー民族主義の高まりと政治的動向、ヒンドゥー・イスラーム対立とコミユナル暴力、グローバル化に伴うヒンドゥー教の変容と世界進出、仏教復興運動とネオ・ブッティズム、キリスト教会による改宗政策と現地文化適応、キリスト教宣教の現況などに及ぶつもりである。



講演内容

「インド4000年の宗教史を紐解く
— 宗教の曙から最新動向まで」

山下 博司氏 (東北大学大学院国際文化研究科教授)

「現代インドにおけるキリスト教宣教の諸相」

岡光 信子氏 (東北大学大学院文学研究科専門研究員)

主催：東北学院大学ヨーロッパ文化研究所

問合せ先：東北学院大学ヨーロッパ文化研究所

TEL 022-264-6379

E-mail : europe@tscc.tohoku-gakuin.ac.jp

共催：東北学院大学オープン・リサーチ・センター



東北学院大学土樋キャンパス案内図

